

---

# チートな過負荷の異常者

アリス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

チートな過負荷の異常者

### 【Nコード】

N8110Y

### 【作者名】

アリス

### 【あらすじ】

めだかボックスに転生したオリキャラが繰り広げる過負荷で異常者な物語です。

処女作です。それが苦手な方は読まない事をオススメします。でも、できる限り頑張っていきますので、それでも大丈夫な方は読んで下さい。

基本は原作沿いのはずです。

## プロローグ

俺は死んだ。

そして、目の前には変なおっさんがいた。

「本当にすまん！」

「いや、あんた誰？」

神「わしは神じゃ！」

は？

神「うて、あの神？」

神「そうじゃ」

なっ！心を読まれた？

神「わしは神じゃぞ？それぐらいできるわ！」

いきなりで悪いがお主にはめだかボックスの世界に転生してもらおうぞ？

「本当いきなりだな！！てか、なんでめだかボックスなんだよ！！」

神「さっきくじ引きで決まった」

「くじ引きで！？」

神「とにかく、決まったものしょうがないので、転生してもらおうぞ

「？」

「はあ、まあ、いいや、俺みたいな異常者にはびったりだし」

神「じゃあ、そういう事で二回目の人生楽しんでくるのじゃぞ？」

もうあんな事が起きんようにな」

「は？今なんて言った？」

すると、突然足元に穴ができた。当然俺はなすすべもなく落ちていった。

「あんの糞じじいー！絶対殴ってやるー！」

## 主人公紹介（前書き）

主人公紹介です。

一応早めにはつといた方がいいと思います

## 主人公紹介

名前：天神 咲夜

アマガミ サクヤ

容姿：RAVEのハルみみたいな感じ

身長：180

体重：68

性格：前の世界では異常だった為に親に捨てられ孤独だった為あまり目立ちたくない。

まあ、とか言いつつ目立つんですがね。

でも、人が困ってたらちよくちよく助けたりはします。

基本はめんどくさがりですがなんだかんだでいろいろ巻き込まれます。

異常

アルティメット

究極

物事を究極にこなす事ができる。

チートですね

過負荷

？

これは後々成長してから出てきます。

まさかの赤ん坊！？（前書き）

初めてなので結構ミスったりしますが、そこらへんはご了承ください。

まさかの赤ん坊！？

(あれ？どこだ？)

目が覚めたら知らない天井だった。すると横には知らない男性と女性がいた。

「おおっ！やっと産まれたぞ！」

「本当だわ、かわいいわね」

(なんだ？)

俺は現状をつかめず、とりあえず何か喋ろうと思ひ声を出した。

「あぶあっ」

あれ？しゃべれない、なんで？

ふと、手を見てみると、手が小さくなっていた。つか、赤ん坊の手だった。

まさか！？ と思い近くにあつた鏡を見てみると、まあ、見事なまでの赤ん坊の姿だった。

「あ、あぶぶばあー！？(な、何じゃこりゃー！？)」

マジか、まさかの赤ん坊からかよ



私は何のために生まれてきた？（前書き）

やっぱり難しいですね

文才が欲しい

私は何のために生まれてきた？

いやあ、やっと2歳になった。

この2年間はいろいろ辛かった

特に授乳の時はヤバかった

よく耐えたな、俺

何がどうあれ今病院にいます。

なんか、異常性を調べるらしいからとか。

え？、何故かって？

そりゃ、俺が1歳半の時に計算式を解いているのを母親に見られたからですよ、まあ、普通1歳半の幼児が計算式といてたら、そりゃ、母親を疑問を持ち始めるさっ！

そして、只今イスに座り自分の番がくるのをまっっているとオカッパ頭をした女の子がきた。

「おい、隣座ってもいいか？」

「どっぞ〜」

「ありがとう」

その子は、礼をしてイスに座った。よく見ると、わくわくした感じが感じとれた。

「君どうしてそんなわくわくしてるの？」

「む？顔に出てたか、そうなのだ、もしかしたら私にわからない事がわかるかもしれないと思うと思っとな」

「そっか」

「『まつたく』 『なんのためだなんて』 『みんな大人のくせに』 『外的外れだよねえ』 『人間は無意味に生まれて』 『無関係に生きて』 『無価値に死ぬに決まってるのにさ』 『きみたちもそう思うだろう？』 『えーと』 『めだかちゃんにさくやくん？』 「

何この子？なんか、ボロボロのぬいぐるみ持つてるんだけどっ！？

「そうか？俺は、人間は意味があつて生きてると思うけどな」

「『へえ〜』 『まだそんな事が言えるんだ』 『まあ』 『その内きみにもわかるよ』 『でも、めだかちゃんは？』 『きみもきつといっぱい人を終わらせてここに來たんだよね』 『いいんだよそれで』 『僕やきみはなにをしてもいいんだ』 「

「球磨川くーん、五番検査室に入ってくれろー？」

ナースの人がそのボロボロのぬいぐるみを持った子に言った。

俺はその時その子の名札を見た。

名札にはくまがわ みそぎと書いてあった。

すると、その子は立ち上がり

「『だつて世界には目標なんてなくて』 『人生には目的なんてないんだから』 「

そう言いその子は去つて言った。

「えっと、大丈夫？めだかちゃん？」

あの子が去ってから、めだかちゃんという子はずっと俯いて何かを  
考えているようだった。

それから、俺は検査が終わり、適当に歩いてたら、目の前に託児室  
と書かれてる部屋があったのでとりあえず入ってみる事にした。

「ちゃーす」

「うん？だれ？」

中にはフードを被った子がいた。

「何してるの？」

「パズルを解いてるんだよ！」

「ふ〜ん、まあ、頑張ってるね、俺は寝るから」

「ええ〜、遊ぼうよ！」

「ええ〜、眠い」

「ねえ、このパズル解いてよ！どうやっても解けないんだあ！」

「はあ〜、わかったよ」

カチャ　カチャ　カチャッ

「ほら、解けたよ」

「うわぁっ、すごいねーすごいすっ！」

「じゃあ、もう寝るからね」

「つぎは、これ解いてよー！」

「いいよ、解いてやるよ、貸してみろっ」

side めだか

私は今逃走している。

何故か言つと毎日続く検査に嫌気が差したからだ。

「おい！13番ー黒神めだかはどこに行った！？探せ！！  
まだそんなに遠くには行ってないはずだ！」

思ったよりも大ごとになってしまった。

外に逃げることは無理そうだ。

ひとまず私は託児室というところに逃げ込んだ。

中には子供が二人いるだけだった。

一人はすごいはいでいて、もう一人は、なんか、すごい真剣だった。

とりあえず、まず、はしゃいでいる子の方に話しかけてみた。

「おい

そんな単純なパズルに何をてこずっておる？貸せ  
私がやってやる」

カチャ　カチャツ　カチャ

「ほら解けたぞ」

「うわあっすごいねきみ！  
ありがとう！  
すっごくうれしいよ！」

「　　礼には及ばない  
私にとっては取るに足りないことだ」

すると、もう一人の子供がやってきた

「おい！全部解いてやったぞ！」

「うわあああ！本当だ！全部解いちゃった！  
すごいすごいすごい！きみたちはすっごくすごいや！」

「　　すごくなんか、それにすごくたって何にもならない  
私が生きていることに  
　　私が生まれたことに  
何の意味もないのだから」

「そうか？俺は人は意味があつて生きていると思つぞ？」

「  
　　だつたら私に教えるがよい  
私は一体何のために生まれてきた？」

「うん、何のために生まれてきたかかあ  
ねえ、きみはこれを解いてもらつて嬉しい？」

「うんっ！すっごくうれしいよ！」

「ほら、きみはこの子をこんな嬉しい気持ちにさしてあげたんだ  
きみはきつと、みんなを幸せにするために生まれてきたんじゃない  
か？」

そうその子は微笑みながら言った。

！？　　そうか、私はみんなを幸せにするために生まれてきたの  
か

そう思つと自然と涙が出てきた。

そして、私はその子に抱きついた。

「いでっ、なんだよ！」

私はただ一言。

「ありがとう！」

私は何のために生まれてきた？（後書き）

書いててめだかってこんなんであってるっけ？と思いました。

アドバイスとかもらえたら嬉しいです。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8110y/>

---

チートな過負荷の異常者

2011年11月27日04時10分発行